

バイオコミュニティ関西 (BiocK)紹介資料

2021/10

※本ページは暫定HPです。正式HPの公開は年末を予定しております。

目次

BiocK紹介資料	3
BiocK委員名簿	13
BiocK分科会一覧	14
バイオコミュニティ関西 規約	15

問い合わせ先：BiocK事務局(info-BiocK@urban-ii.or.jp)

バイオコミュニティ関西（BiocK）の新たな挑戦

～「つなぐ」「つなげる」「つながる」・集積から連携へ～

2021年10月

1

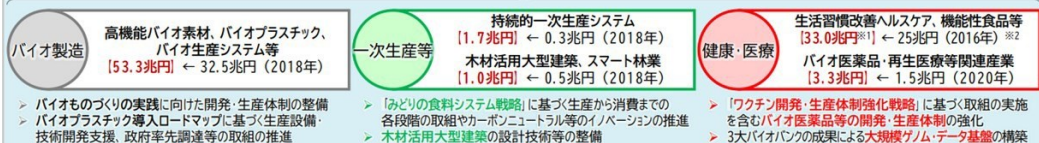
「バイオ戦略フォローアップ」のポイント

- ◆ 全体目標として「2030年に世界最先端の**バイオエコノミー社会**を実現」するため、「バイオ戦略2019」・「バイオ戦略2020」を策定し、**市場領域**の拡大に向け、市場領域ごとに目標を設定し、**バックキャスト**等の基本方針に基づき取組を推進
- ◆ 第6期基本計画のほか、**気候変動問題**への対応の更なる加速や**ワクチン・治療薬**等の開発競争の激化に代表される情勢変化など、最新動向を踏まえ、具体的な取組を充実させ、**戦略の実行情形**を示すべく、これまでの戦略をブラッシュアップした「**バイオ戦略フォローアップ**」を策定し、目標達成を目指す

バイオ関連市場の拡大

2030年時点で**総額92兆円**の市場規模を目指し、**市場領域施策**を推進

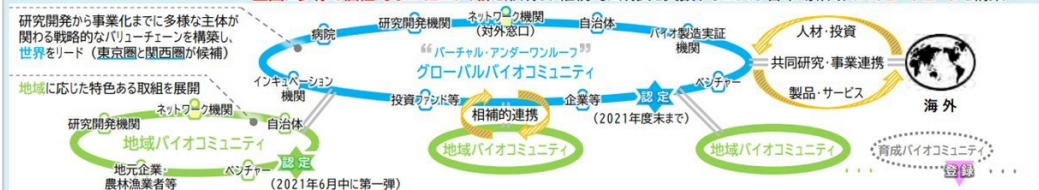
※1 2025年 ※2 市場規模は公的保険外ヘルスケアサービス



バイオコミュニティの形成

人材・投資を呼び込み、市場に製品・サービスを供給するための体制

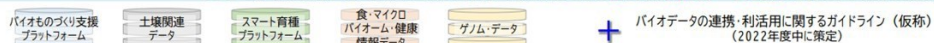
全国に**多様で個性的なコミュニティ群**を形成し、継続的に成長を支援することで、各市場領域で**バリューチェーン**を構築



データ基盤の整備

研究開発・事業化に必要なデータ基盤

デジタル庁等の政府全体の共通の取組を前提に、異分野を含む**幅広く、柔軟なデータ連携**を可能とする環境を構築



社会像と市場領域

参考

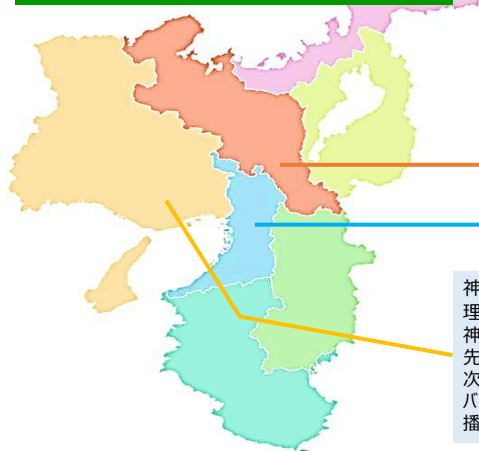


3

関西におけるバイオ関連拠点の集積

関西が誇る研究拠点の集積 + 多様性と厚みのある産業集積

"集積" から "連携" へ



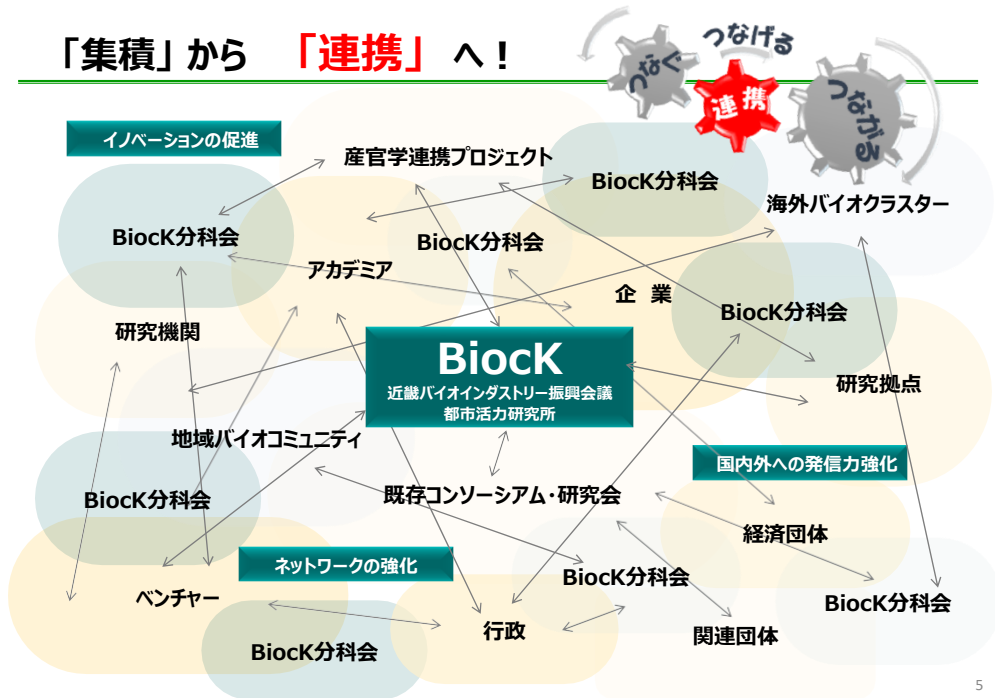
京都大学
理化学研究所（けいはんな）
iPS細胞研究所（CiRA）
京都リサーチパーク（KRP）

大阪大学
公立大学法人大阪
医薬基盤・健康・栄養研究所
国立循環器病研究センター
産業技術総合研究所（関西センター）
理化学研究所（吹田）
彩都、健都、中之島
関西医薬品協会、道修町
近畿バイオインダストリー振興会議
都市活力研究所、LINK-J WEST

神戸大学
理化学研究所（神戸）
神戸医療産業都市（KBIC）/スーパーコンピューター「富岳」
先端バイオ工学推進機構（OEB）
次世代バイオ医薬品製造技術研究組合（MAB）
バイオリジクス研究・トレーニングセンター（BCRET）
播磨科学公園都市/大型放射光施設「Spring-8」

4

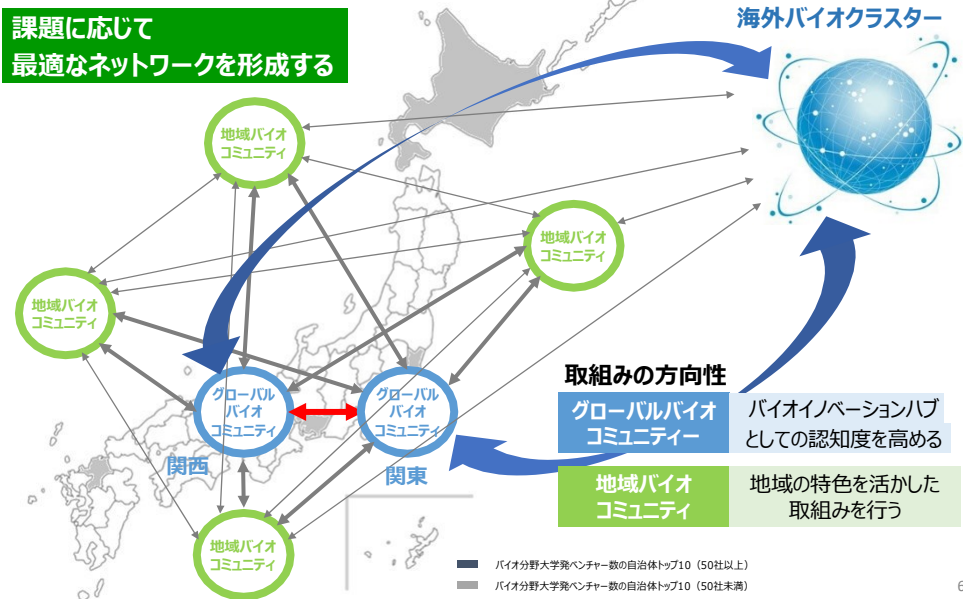
「集積」から「連携」へ！



5

グローバル・地域バイオコミュニティの形成

内閣府資料「バイオ戦略2020
(基盤的施策)のポイント」をイメージ化



6

バイオコミュニティ関西 設立の趣旨

ビジョン	持続可能な社会実現のため、バイオファーストの発想を広げ、国際都市型バイオコミュニティの形成をめざす
ゴール	関西を拠点にバイオ分野における究極のエコシステムをつくる

1. 当面の目標

社会課題解決と次世代の産業振興のためのオープンイノベーションの場をつくる

2. 主な活動内容

- 国内外への発信力強化
- イノベーションの促進
- ネットワークの強化

3. 名称

バイオコミュニティ関西（Biocommunity Kansai、以下「BiocK」という）

4. 設立

2021年7月1日

7

アクションプラン

アクションⅠ：基本方針および基本計画の策定
BiocKの活動の基本方針を策定し、産業界のニーズと関西の各研究機関の状況を踏まえ、関西に求められる機能を明らかにし、具体的な基本計画を策定する
アクションⅡ：国内外への発信力強化
関西のバイオ分野のポテンシャルと活動情報を集約し、国内外へ発信するための機能を強化する
アクションⅢ：イノベーションの促進
バイオ分野の新事業を継続的に創出し、社会課題の解決に貢献するため、企業によるオープンイノベーションや産学連携事業を促進し、またスタートアップ支援を実施する
アクションⅣ：ネットワークの強化
各研究拠点の連携強化、異分野との融合促進を行い、また、これまで構築されてきた研究成果や施設の活用促進を図るとともに、海外クラスターとの交流を行う

8

アクションⅠ：基本方針および基本計画の策定

BiocKの活動の基本方針を策定し、産業界のニーズと関西の各研究機関の状況を踏まえ、関西に求められる機能を明らかにし、具体的な基本計画を策定する

◆基本方針

BiocKの設立趣旨に基づき、将来ビジョンの再定義を含め、BiocKの活動の基本方針を策定する

◆基本計画

- ・ バイオ戦略2020の考え方にに基づき、関西バイオ集団として実施すべき課題を設定する
- ・ 産業界のニーズと関西の各研究機関の状況を踏まえ、関西に求められる機能を明らかにし、具体的な目標を設定する
- ・ 目標達成に向けた具体的な活動の基本計画（5か年計画）を策定する
- ・ アクションⅡ、Ⅲ、Ⅳについても5か年計画を策定する



毎年評価を行い、次年度事業や計画の見直しを行う

9

アクションⅡ：国内外への発信力強化

関西のバイオ分野のポテンシャルと活動情報を集約し、国内外へ発信するための機能を強化する

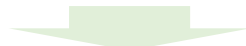
バイオ情報の発信基地としての機能強化

① 情報収集、調査

- 関西の医療/ヘルスケア、アグリ、環境・エネルギーなどの産学官のポテンシャル調査
- 企業、研究機関、プロジェクト、公的バイオ関連施設、CMO、CDMO等の拠点集積調査
- 上記のポテンシャルおよび拠点集積の関連性、相補性の見える化
- 世界をリードする製品や事業化事例

② 情報発信

- 上記調査結果に基づく情報発信
- ロゴマーク、ホームページ、パンフレット、動画等の作成
- イベント情報の集約、発信
- 上記を通じたブランディング推進、国内外の認知度強化



関西にはイノベーション創出の環境とリーディングカンパニーが存在し、関西に来れば、何か新しい事が起こるという魅力を発信する

10

アクションⅢ：イノベーションの促進（１）

バイオ分野の新事業を継続的に創出し、社会課題の解決に貢献するため、
企業によるオープンイノベーションや産学連携事業を促進し、
またスタートアップ支援を実施する

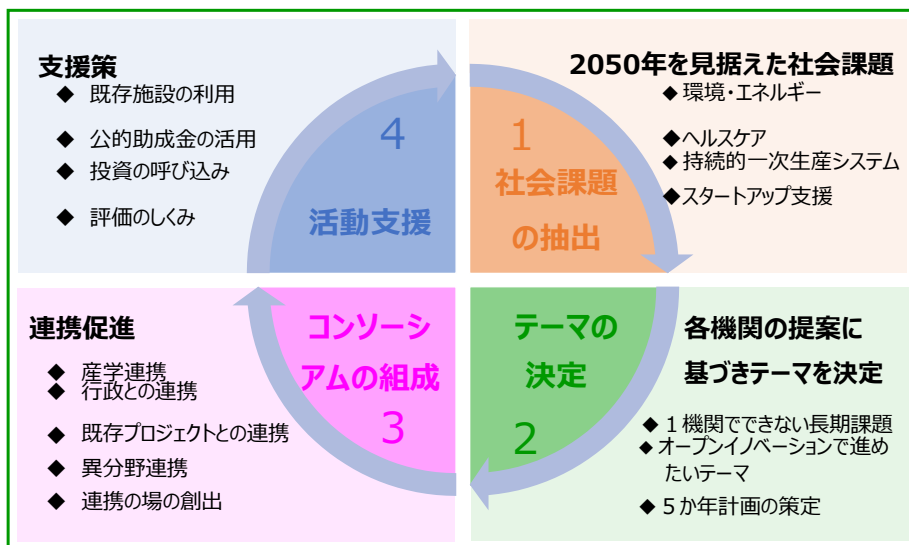
社会課題解決のためのコンソーシアム（分科会）の組成

- ① 企業発オープンイノベーションの促進
 - 関西企業を中心にテーマを募集する（中核企業のリーダーシップが重要）
 - 関西内外の機関を巻き込んでオープンイノベーションのためのコンソーシアムを組成する
- ② 産学官連携プロジェクトとの連携
 - 産学融合先導モデル拠点創出プログラム（近畿圏産学融合創出エリア）
 - スタートアップ・エコシステム拠点都市（大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム）
 - JST共創の場形成支援プログラム（京大、阪大、産総研、国立循環器病センター）
 - 京都市ライフイノベーション推進戦略
 - 健康・医療関連産業のクラスター形成（大阪府）
 - 神戸医療産業都市
 - その他
 - ・医療機器開発プロジェクト：大阪商工会議所
 - ・再生医療関連：NIRO

分科会の活動状況を適切に情報発信する

11

分科会の組成と活動の進め方



12

アクションⅣ：ネットワークの強化

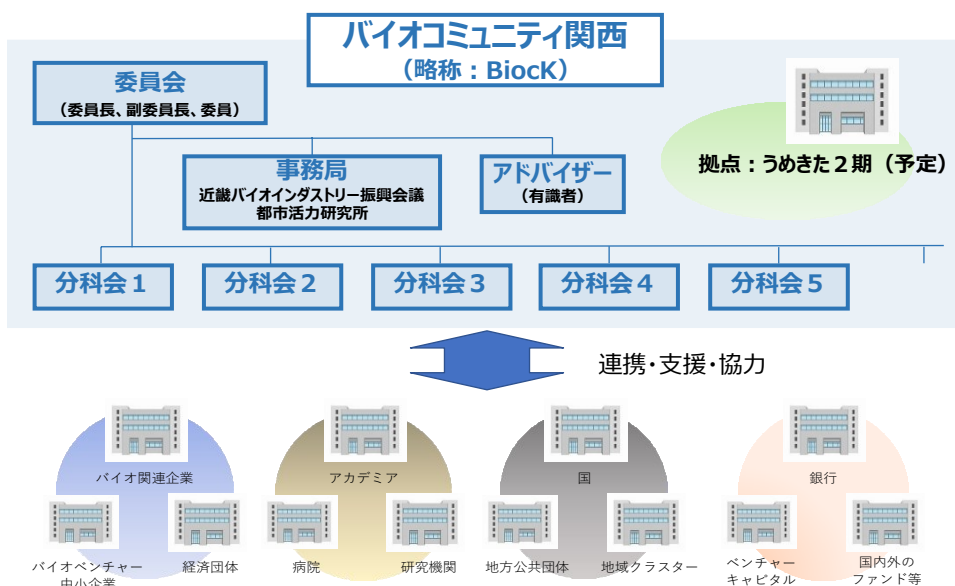
各研究拠点の連携強化、異分野との融合促進を行い、
また、これまで構築されてきた研究成果や施設の活用促進を図る

- ① **バイオ戦略トークセミナーの実施**
 - バイオファーストの発想を広め、社会課題をバイオの力で解決するための方策を検討するための勉強会としてセミナーを開催し、関係者の関心と連携を高める
 - ・ アグリバイオ戦略（2021年1月29日）、デジタルヘルスの未来像（2021年3月29日）
 - ・ 環境・エネルギー、スタートアップ支援等について継続的に企画実施
- ② **異分野融合促進セミナー、交流イベントの実施**
 - バイオ分野の異分野融合、新規参入促進のためのセミナーを実施する
 - 多様な分野の関係者の交流の場を提供し、マッチングを促進する
- ③ **海外交流**
 - 海外クラスターとの交流、ネットワーク形成を行う
- ④ **既存の施設の活用促進**
 - 社会実装のために設けられた、高いポテンシャルを持つ施設（インキュベーション、バイオファウンドリーなど）について、産業界のニーズを踏まえ、活用促進、機能強化を行う

業界や分野の違いを超えたネットワークを創出し、新しい産業創出のきっかけをつくる

13

バイオコミュニティ関西の組織



14

バイオコミュニティ関西 委員構成

役 員	委員長	澤田 拓子	関西経済連合会ベンチャー・エコシステム委員会 委員長
	副委員長	諸富 隆一	関西経済連合会ベンチャー・エコシステム委員会 副委員長 関西経済同友会関西ブリッジフォーラム委員会 委員長
	副委員長 統括コーディネーター	坂田 恒昭	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 副理事長 大阪商工会議所ライフサイエンス振興委員会 副委員長 全国バイオ関係者会議 実行委員会 会長
	事務局長	高田 清文	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 専務理事
	事務局次長	生井 昌樹	公益財団法人都市活力研究所 専務理事
委 員	関西経済連合会 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 大阪府 関西経済同友会 国立研究開発法人国立循環器病研究センター 大阪市 大阪商工会議所 国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター 兵庫県 京都商工会議所 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 神戸市 神戸商工会議所 国立研究開発法人理化学研究所 京都府 大阪大学 独立行政法人製品評価技術基盤機構 京都市 京都大学 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 関西医薬品協会 神戸大学 関西健康・医療創生会議 ジェトロ大阪本部 公立大学法人大阪 一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン 一般財団法人バイオインダストリー協会		
事 務 局	川並 弘子	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 常務理事	
	国松 武史	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 理事 事務局長	
	菅原 雄一	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 コーディネーター	
	味村 和洋	公益財団法人都市活力研究所 主席研究員	

現時点での分科会構成

分科会名称	社会課題分野	取組内容	リーダー機関	備考
バイオメタン分科会	環境・エネルギー	エネルギーのカーボンニュートラル化	大阪ガス株式会社	産官学から多くの関係機関が参画予定
プラスチック分科会	環境・エネルギー	バイオプラスチック	サラヤ株式会社	
メンタルヘルス分科会	ヘルスケア	社会生産性の向上	塩野義製薬株式会社	
スマートカルチャーセッション分科会	持続的・一次生産システム	一次産業におけるバイオ機能の最大限活用	ヤンマーホールディングス株式会社	
スタートアップ分科会	スタートアップ支援	関西におけるスタートアップ支援	株式会社三井住友銀行	
ビッグデータヘルスケア分科会	全般	バイオデジタル	NPO法人バイオグリッドセンター関西	
デジタルバイオヘルス分科会	ヘルスケア	総合健康産業都市	国立循環器病研究センター研究所	JST 共創の場
フォトニクス生命工学分科会	ヘルスケア	フォトニクス生命工学	大阪大学	JST 共創の場
新たな分科会の中核機能を担う「企業」・「産学官連携プロジェクト」募集中				

社会課題への貢献

分科会名称	バイオ戦略2020における市場領域									SDGs		
	① 素材	② プラ	③ 一次	④ 廃棄	⑤ ヘルス	⑥ 医療	⑦ 生産	⑧ 分析	⑨ 林業	17 持続可能な開発目標	SDGs	
バイオメタン分科会										7 エネルギー の持続可能な 開発	13 気候変動 の持続可能な 開発	9 産業と インフラ の持続可能な 開発
プラスチック分科会										12 持続可能な 消費と生産	14 海洋資源 の持続可能な 開発	
メンタルヘルス分科会										3 持続可能な 健康と福祉	9 産業と インフラ の持続可能な 開発	
スマートカルチャー ション分科会										2 持続可能な エネルギー	3 持続可能な 健康と福祉	13 気候変動 の持続可能な 開発
スタートアップ分科会										8 持続可能な 産業とインフラ	9 産業と インフラ の持続可能な 開発	
ビッグデータヘルス ケア分科会										3 持続可能な 健康と福祉	9 産業と インフラ の持続可能な 開発	
デジタルバイオヘル ス分科会										3 持続可能な 健康と福祉	11 持続可能な 都市と地域	9 産業と インフラ の持続可能な 開発
フotonics生命 工学分科会										3 持続可能な 健康と福祉	9 産業と インフラ の持続可能な 開発	

17

バイオ戦略トークセミナー

2021年1月一次生産システム

**バイオ戦略
トークセミナー**

日時 2021年1月29日(金)
14:00~16:00

会場 WEB開催 (zoomを使用します)

バイオ戦略2020に基づき、持続可能な社会実現のため、関与する人達(バイオインダストリー、農林水産、金融機関、自治体、大学、企業、市民)が、バイオ戦略2020の推進を目的として、今後、持続可能なバイオインダストリーの発展を目指す活動を進めていくという考えです。その活動の一環として、オープンセミナーを開催し、バイオ戦略2020の推進を目的として、今後、持続可能なバイオインダストリーの発展を目指す活動を進めていくという考えです。

▶ ご講演 14:00~
「日本のアグリバイオ戦略 2050年に向けて」
農林水産省 大臣官房技術政策課長 渡辺 龍夫 氏

▶ フシリートク 15:10~
【コーディネーター】
バンダーボルク・ディンクス株式会社
取締役兼、バイオベンチャー・インベスティメント・マネージャー 部長 野村 英明 氏

【パネラー】
農林水産省 大臣官房技術政策課長 渡辺 龍夫 氏
農林水産省 技術政策課長 渡辺 龍夫 氏
農林水産省 技術政策課長 渡辺 龍夫 氏
農林水産省 技術政策課長 渡辺 龍夫 氏

参加費 無料 農林水産省バイオ戦略サイトから <https://33060000.com/>

2021年3月ヘルスケア

**バイオ戦略トークセミナー
ヘルスケアの未来戦略**

デジタルヘルスの未来像

日時 2021年3月29日(月)
13:00~16:00

会場 WEB開催 (zoomを使用します)

バイオ戦略2020に基づき、持続可能な社会実現のため、関与する人達(バイオインダストリー、農林水産、金融機関、自治体、大学、企業、市民)が、バイオ戦略2020の推進を目的として、今後、持続可能なバイオインダストリーの発展を目指す活動を進めていくという考えです。その活動の一環として、オープンセミナーを開催し、バイオ戦略2020の推進を目的として、今後、持続可能なバイオインダストリーの発展を目指す活動を進めていくという考えです。

▶ ご講演 13:00~
「いのち輝く未来社会の共創」
慶應義塾大学 医学部副学長 菅野 孝雄 氏

▶ ご講演 14:05~
「バイオ戦略におけるヘルスケア分野での“ワンストップ”なAI活用」
株式会社スクウェア・エニックス 代表取締役社長 花田 敬 氏

▶ パネルディスカッション 15:10~
【コーディネーター】
株式会社スクウェア・エニックス 代表取締役社長 花田 敬 氏
【パネラー】
株式会社スクウェア・エニックス 代表取締役社長 花田 敬 氏
株式会社スクウェア・エニックス 代表取締役社長 花田 敬 氏
株式会社スクウェア・エニックス 代表取締役社長 花田 敬 氏

参加費 無料 農林水産省バイオ戦略サイトから <https://33060000.com/>

2021年10月環境エネルギー

**バイオ戦略トークセミナー
環境エネルギーの未来戦略**

バイオメタンの有効活用

日時 2021年10月1日(金)
14:00~16:20

会場 WEB開催 (zoomを使用します)

2021年7月に設立したバイオコミュニティ関西(BCK)は、内閣府「バイオ戦略2020」に基づき、持続可能な社会実現のため、関与する人達(バイオインダストリー、農林水産、金融機関、自治体、大学、企業、市民)が、バイオ戦略2020の推進を目的として、今後、持続可能なバイオインダストリーの発展を目指す活動を進めていくという考えです。その活動の一環として、オープンセミナーを開催し、バイオ戦略2020の推進を目的として、今後、持続可能なバイオインダストリーの発展を目指す活動を進めていくという考えです。

▶ ご講演 14:00~
「バイオガスのエネルギー利用とその高品質化について」
京都大学大学院 工学研究科 環境工学専攻 教授 大下 和隆 氏

▶ ご講演 14:35~
「自立運転のカーボンニュートラルに向けたバイオメタン、合成メタンへの取り組み」
日立造船株式会社 環境事業本部 環境技術開発部長 田中 健司 氏

▶ ご講演 15:05~
「バイオメタンの普及化に向けて」
大阪府バイオエナジー推進委員会 シニアリサーチャー 坪田 真 氏

▶ トークセッション 15:40~
参加費 無料 農林水産省バイオ戦略サイトから <https://33060000.com/>

2021年11月24日(予定) プラスチック分科会セミナー
2021年12月9日(予定) スタートアップ分科会セミナー

18

これまでに情報交換させていただいた機関

鋭意拡大中

行政

内閣府
経済産業省
文部科学省
農林水産省
厚生労働省
国土交通省
環境省

近畿経済産業局
中小企業基盤整備機構
JETRO大阪本部

大阪府、大阪市
京都府、京都市
兵庫県、神戸市
関西健康-医療創生会議
大阪産業局

経済団体

関西経済連合会
関西同友会
大阪商工会議所
京都商工会議所
神戸商工会議所

大学・研究機関

京都大学
大阪大学
神戸大学
大阪府立大学
東京農工大学
慶應大学

医薬基盤-健康-栄養研究所
国立循環器病研究センター
産業技術総合研究所関西センター
農業-食品産業技術総合研究機構
理化学研究所
製品評価技術基盤機構
(株)国際電気通信基礎技術研究所
NPO法人バイオグリッドセンター-関西

産学官連携プロジェクト

大阪-京都-ひょうご神戸コンソーシアム
関西イノベーションイニシアティブ (KSII)
京阪神スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC)
先端バイオ工学推進機構 (OEB)
次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 (MAB)
バイオロジクス研究・トレーニングセンター (BCRET)

企業、ベンチャー

大阪ガス(株)
サラヤ(株)
塩野義製薬(株)
ヤンマーホールディングス(株)
三井住友銀行(株)
三菱UFJキャピタル(株)
(株)池田泉州銀行
バイオ-サイト-キャピタル(株)

カネカ(株)
シスメックス(株)
(株)島津製作所
パナソニック(株)
(株)クボタ
日立造船(株)
タカラバイオ(株)
(株)エクサウィザーズ
あっと(株)
(株)セツロテック
(株)バックス・バイオイノベーション
デロイトトーマツコンサルティング

関連団体

JBA
LINK-J
関西医薬品協会
京都リサーチパーク (KRP)
NPO法人資源リサイクルシステムセンター

2021年9月末現在

BiocK委員名簿

BiocK 役職	氏名	所属	役職
委員長	澤田 拓子	関西経済連合会ベンチャー・エコシステム委員会	委員長
副委員長	諸富 隆一	関西経済連合会ベンチャー・エコシステム委員会	副委員長
		関西経済同友会関西ブリッジフォーラム委員会	委員長
副委員長・ 統括コーディネーター	坂田 恒昭	NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議	副理事長
		大阪商工会議所ライフサイエンス振興委員会	副委員長
		全国バイオ関係者会議 実行委員会	会長
事務局長	高田 清文	NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議	専務理事
事務局次長	生井 昌樹	公益財団法人都市活力研究所	専務理事
	関 総一郎	公益社団法人関西経済連合会	専務理事
	廣瀬 茂夫	一般社団法人関西経済同友会	常任幹事 事務局長
	宮城 勉	大阪商工会議所	専務理事
	稲垣 繁博	京都商工会議所	常務理事 事務局長
	関口 幸明	神戸商工会議所	理事・事務局長
	金田 安史	国立大学法人 大阪大学	理事 副学長
	室田 浩司	京都大学	産官学連携本部長
	河端 俊典	国立大学法人神戸大学	理事 副学長
	藤村 紀文	公立大学法人大阪 大阪府立大学	副学長 研究推進本部長 研究推進機構長
	米田 悦啓	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	理事長
	大津 欣也	国立研究開発法人国立循環器病研究センター	理事長
	辰巳 国昭	国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター	関西センター所長
	門脇 光一	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	研究担当事務
	西田 栄介	国立研究開発法人理化学研究所	生命機能科学研究センター センター長
	木井 保夫	独立行政法人製品評価技術基盤機構	理事
	川人 光男	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	脳情報通信総合研究所 所長
	落合 正晴	関西健康・医療創生会議	事務局長
	小林 宏行	大阪府	商工労働部長
	岡本 圭司	大阪市	経済戦略局長
	鈴木 一弥	京都府	商工労働観光部 企画理事兼商工労働観光部長
	北村 信幸	京都市	産業観光局 局長
	竹村 英樹	兵庫県	産業労働部長
	西尾 秀樹	神戸市	企画調整局 医療・新産業本部 本部長
	國枝 卓	関西医薬品協会	理事長
	根本 裕之	日本貿易振興機構 大阪本部	日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部 大阪本部長
	曾山 明彦	一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン	常務理事
	塚本 芳昭	一般財団法人バイオインダストリー協会	専務理事

BiocK分科会一覧

分科会名称	社会課題分野	取組内容	リーダー機関	備考
バイオメタン分科会	環境・エネルギー	エネルギーのカーボンニュートラル化	大阪ガス株式会社	
プラスチック分科会	環境・エネルギー	バイオプラスチック	サラヤ株式会社	
メンタルヘルス分科会	ヘルスケア	社会生産性の向上	塩野義製薬株式会社	
スマートカルチャーセッション分科会	持続的・一次生産システム	一次産業におけるバイオ機能の最大限活用	ヤンマーホールディングス株式会社	
スタートアップ分科会	スタートアップ支援	関西におけるスタートアップ支援	株式会社三井住友銀行	
ビッグデータヘルスケア分科会	全般	バイオデジタル	NPO法人バイオグリッドセンター関西	
デジタルバイオヘルス分科会	ヘルスケア	総合健康産業都市	国立循環器病研究センター研究所	JST 共創の場
フォトニクス生命工学分科会	ヘルスケア	フォトニクス生命工学	大阪大学	JST 共創の場

バイオコミュニティ関西 規約

第1条（名称）

本組織の名称を次のとおり定める。

名 称：バイオコミュニティ関西（以下「本組織」という）

ローマ字表記：Biocommunity Kansai

略 称：BiocK

第2条（目的）

本組織は、「持続可能な社会実現のため、バイオフィーストの発想を広げ、国際都市型バイオコミュニティの形成をめざす」というビジョンを掲げ、「関西を拠点にバイオ分野における究極のエコシステムをつくる」ことを目的とする。

第3条（活動）

本組織は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げるマテリアリティ（重要課題）の解決に必要な活動を行う。

- ① 国内外への発信力強化
- ② イノベーションの促進
- ③ ネットワークの強化

第4条（事業年度）

本組織の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。初年度については、設立日より翌年3月31日とする。

第5条（委員）

本組織の委員は、本組織の目的に賛同し、本組織の活動に参画し協力する、次の各号に定める法人及び団体から代表する者とする。

- ① 大学・国研等
- ② 都道府県・市町村
- ③ 前各号に該当しない法人及び団体

2. 本組織の委員に就任する場合は、委員長名の就任依頼書にもとづき、就任承諾書を提出しなければならない。

3. 本組織の委員を辞任する場合は、辞任届を委員長宛に提出しなければならない。

第6条（役員）

本組織に次の各号の役員をおく。

- ① 委員長 1名

- ② 副委員長 1名以上
- ③ 統括コーディネーター 1名以上
- ④ 事務局長及び事務局次長 各1名

第7条（役員の職務）

委員長は、本組織の活動全体を総括し、本組織の目的を達成する。

- 2. 副委員長は、委員長の補佐を行う。委員長に事故あるときは、これを代行する。
- 3. 統括コーディネーターは、本組織で行われる推進計画の円滑な推進や活動全体の最適化のため、委員及び関係機関と連携を図り、本組織の活動全体を推進する。
- 4. 事務局長、事務局次長は、統括コーディネーターの補佐を行う。

第8条（役員の選任）

役員は、第17条に定める委員会の議決により選任する。

第9条（役員の任期）

役員の任期は、就任の日から翌事業年度の次の定時委員会までとする。本組織の活動が継続される場合には、自動的に延長する。

第10条（役員の解任）

役員は、委員会の決議によって解任することができる。

第11条（役員の辞任）

役員は、第17条に定める委員会に書面により申し出て、辞任することができる。ただし、第6条に定める定数に足りなくなるときは、辞任した後も、新たに選任されたものが就任するまでは、役員として、その職務を行わなければならない。

第12条（アドバイザー）

本組織にアドバイザーを置くことができる。

- 2. アドバイザーは本組織の活動について助言、提言を行う。
- 3. アドバイザーは委員長が任命する。
- 4. アドバイザーは申請に基づき辞任することができる。

第13条（連携機関）

本組織に連携機関を置くことができる。

- 2. 連携機関は本組織と協力して本組織の目的達成に向けた活動を行う。
- 3. 連携機関は申請に基づき統括コーディネーターが承認する。
- 4. 連携機関は申請に基づき連携機関から離れることができる。

第14条（分科会）

本組織の活動におけるイノベーション促進の執行を実質ならしめるため、分科会をおく。

2. 分科会は、委員長が指名するリーダー機関の代表者及び実施責任者と、各分科会が掲げるテーマ及び取り組みに賛同する産官学各機関の実施責任者をもって構成する。

3. リーダー機関は、分科会編成、会議運営、5か年計画策定、活動推進、予算管理、事務局への進捗報告を行う。

4. 分科会は、代表者の申請に基づき解散することができる。

第15条（事務局）

本組織に事務局をおき、次の各号に定める事項を行う。

- ① 活動推進のための委員相互との円滑な連携の促進
- ② 関係省庁、委員、関係機関等との連絡・調整
- ③ 本組織の活動推進のための業務

2. 事務局は、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議及び公益財団法人都市活力研究所が共同であることとする。

第16条（会議体）

本組織に次の各号からなる会議体をおく。

- ① 委員会
- ② 役員会

2. 前項第1号の会議体については、会議後、議事録を作成するものとする。

第17条（委員会）

委員会は以下の通り運営する。

1. 委員会は、定時委員会と臨時委員会からなり、委員をもって構成する。

2. 委員会は、次の各号について議決し、また本組織の活動についてアドバイスを行う。

- ① 役員の選任及び解任
- ② 本組織の解散及び残余財産の処分
- ③ 本組織の運営に関する重要事項

3. 統括コーディネーターは、本組織の活動状況を、委員会で報告しなければならない。

4. 定時委員会は、年に1回以上、開催する。

5. 臨時委員会は、委員長が必要と認めたときに開催することができる。

6. 委員会は、委員長が招集する。

7. 委員会の議長は、委員長がこれにあたる。但し、委員長が出席できないときは、議長の業務を副委員長が代行する。

8. 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

9. 議事は、出席した委員の議決権の過半数の同意をもって、これを決する。但し、特別な利害関係を有する委員は、その決議事項について、議決することはできない。

10. 前2項の規定にかかわらず、委員の全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、これをもって決議があったものとみなす。

11. 委員会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、他の委員を代理人として議決権の行使を委任することができる。また、代理人の出席をもって第8項の出席とみなされる。

第18条（役員会）

役員会は以下の通り運営する。

1. 役員会は、定時役員会と臨時役員会からなり、役員をもって構成する。

2. 役員会は、次の各号について議決する。

- ① 活動計画及び予算の承認
- ② 活動報告及び決算の承認
- ③ アドバイザー、連携機関の除名
- ④ 本規約の制定及び変更
- ⑤ 本組織の運営に関するその他の事項

3. 定時役員会は、年に1回以上、開催する。

4. 臨時役員会は、委員長が必要と認めたときに開催することができる。

5. 役員会は、委員長が招集する。

6. 役員会の議長は、委員長がこれにあたる。但し、委員長が出席できないときは、議長の業務を副委員長が代行する。

7. 役員会は、役員の過半数の出席をもって成立する。

8. 議事は、出席した役員の議決権の過半数の同意をもって、これを決する。但し、特別な利害関係を有する役員は、その決議事項について、議決することはできない。

9. 前2項の規定にかかわらず、役員の全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、これをもって決議があったものとみなす。

10. 役員会に出席できない役員は、あらかじめ通知された事項について、他の役員を代理人として議決権の行使を委任することができる。

第19条（活動計画及び予算）

本組織の活動計画及び収支予算を記載した書類については、統括コーディネーターが作成し、役員会の承認を受けるものとする。

第20条（活動報告及び決算）

本組織の活動報告及び決算については、統括コーディネーターが活動報告書と決算書を作

成し、役員会の承認を受けるものとする。

第21条（補則）

本規約の実施に関して必要な事項は、統括コーディネーターが別に定める。

付則

1. 本組織発足時の、委員、役員、事務局は別紙の通りとする。
2. 本規約は、2021年10月1日に改定、施行する。

以上